

新しい図書館バス お披露目

レバンガ 北海道

田原隆徳選手(33)が、羅臼高校に！！

2月27日(月)羅臼高校で「スポーツ著名選手講演会」が開催され、北海道のバスケットボールのプロチーム、「レバンガ北海道」の田原選手が講師としてきました。田原選手は、現役の札幌大学の学生でプロの契約を結んでいます。

講演は、「運動を続けることの楽しさと、夢を持つこと」と題して行われました。「夢を持って、自分を信じてやり続けること。自分には負けたくない。今まで自分を支えてくれた周りの人に感謝している。夢を言葉に出して頑張り続けることが大切。」など話されました。

講演の後は、全校生徒とストレッチや準備運動を行い、その後、田原選手も交えてバスケットボールのゲームが行われました。1ゲームは2分間という短い時間でしたが、生徒たちは精一杯走っていました。また、田原選手は試合の中で、巧みなドリブルや3ポイントシュートなどの見事なプレーを見せてくれました。

ゲームは全校生徒が参加して行われました。途中で先生方もチームを作って参加しました。先生方の素晴らしいプレーが出るたびに生徒たちから大きな歓声が上がっていました。

最後に田原選手といっしょに全校生徒、先生方もいっしょに記念写真を撮って終わりました。



クマ学習 IN 春松小

2月23日(木)クマ学習を春松小学校5年生が受けました。

ヒグマの生息する地域に住んでいる私たちにとって欠かせないクマとの共生問題。

子どもたちは、小さい頃からクマの生態について知り、共生について考えました。

この日は、そのクマ学習が5年生を対象に行われました。講師は、知床財団の職員の方々と自然教育主幹の先生です。



頭骨を見て、歯の並びとその食べ物の関係性について知りました。

なかなか触ることのできないクマの毛皮。

実際にさわって確かめました。



人間の心無いゴミの投棄やえさやりによって餌付いたクマの悲しい結末・・・。

人と野生動物の関係についても学びます。

最後に今日学習したことのまとめをヒグマ新聞にまとめました。



(春松小学校ブログより)

2月8日(水)と9日(木)に春松小学校と羅臼小学校で新しくなった「かもめ号」のお披露目式がありました。

お披露目式には、町長や教育長、バスの絵を描いてくれた後藤さん、小中学校の校長先生方、また、保護者の方々も出席しました。

町長や教育長のお話を聞いた後、図書館バスの歴史のスライドがあり、児童代表の言葉や園児たちによる「かもめの水兵さん」の歌も披露されました。その後テープカットをして、新しいバスの鍵を運転手さんに渡して式は終わりました。

終了後児童たちは、外に出て早速新しいかもめ号の中を見たり、描いてある絵について後藤さんからお話を聞いたりバスの前で写真を撮ったりしていました。

お披露目の後、昼から図書館バスでの貸し出しが行われ、たくさんの子供たちが本を借りにきていました。両校とも100冊近くの本を貸し出ししました。

春松幼稚園では、10日に園児みんなで借りにきて、200冊近くを貸し出しました。

これからもたくさん本を借りてくれることを願っています。



春松小学校



羅臼小学校

羅臼高校生が世界へ発信！

練習した

英会話で直接交流！

羅臼町 PR&スケソパイ限定販売を通じた国際交流！

2月5日(日)・11日(土)・25(土) atギャラリーミグラー

羅臼高校では、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーション活動の一環として、外国人観光客をターゲットに「およげ！コブスケ〜スケソパイ and 昆布ご飯〜」(昨年グランプリを受賞した創作料理)の直接販売を通じた国際交流事業を実施しました。



近年羅臼町では、冬場の観光として、天然記念物であるオオワシやオジロワシ、国後島や流水等の景色をねらった外国人観光客(カメラマン他)が増えています。これは、欧州の富裕層を中心にカメラを持ちながら、世界中の自然を見て学ぶという旅行スタイルが流行しているためで、ここ知床は、世界的に棲む場所が限られるオオワシの越冬地として、希少な環境であることなどが理由の一つとして人気スポットとなっています。観光客滞留拠点として期待されるギャラリーミグラー(昨年7月オープン)にて、この時期を機に実施されたものです。

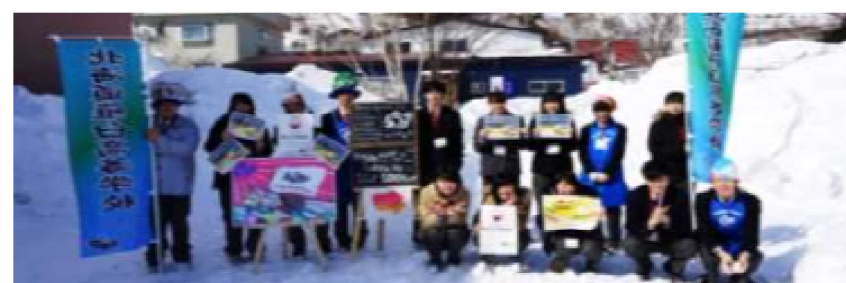
創作料理実践研究メンバーと国際交流や販売活動に興味のある生徒14名(1年生:7名、2年生:7名)が参加し、本番を迎えるまでに、数週間前から英語授業の中で英訳や発声の練習を積んで挑みました。



5日(日)は、外国人観光の客足は伸び悩んだものの、残る2日間は道内や国内のお客様をはじめ、台湾・中国等アジア・欧州等から大勢の観光客で賑わいました。生徒達は、ギャラリーミグラー内での接客係、連絡調理係、道の駅出張販売係等に担当を振り分け、それぞれの仕事をしっかりとこなしていました。「本物の外国人」を目の前に慣れない英会話では、最初は「HELLO」の言葉もぎこちないものでしたが、徐々に慣れていき、度胸がついた様子もありました。本場の発音等アドバイスを頂ける場面もあり、関った生徒達にとって貴重な経験となりました。

保木歩君(2年)は、「今回の国際交流では課題が沢山でしたが、目標としていた『外国人との交流販売』を達成することができたので良かったです。また来年も継続していきたいです。」と話され、菊池愛里さん(2年)は、「言語の大切さを学びました。これからも英語を勉強し続けて、将来海外へ行ったときに役に立てて行きたいです。」と話されました。

羅臼高校の生徒の皆さん、3日間大変お疲れ様でした！



ご存じですか？

羅臼町子育て支援事業

○放課後健全育成事業

- ・羅臼小学校放課後児童クラブ(小学校1年生〜6年生)

○地域子育て支援拠点事業

- ・子育て支援センターありんこ
- ・一時預かり事業「羅臼幼稚園」「春松幼稚園」

○その他の子育て支援事業

- ・妊婦検診事業・乳児全戸訪問事業
- ・養育支援訪問事業

○子連れお出かけ支援事業

○北海道赤ちゃんのほっとステーションに登録

- ・役場庁舎障害者トイレ内におむつ交換台設置
授乳スペース確保
- ・子育て支援センター内に授乳スペース確保
トイレ改修

○ママのリフレッシュ事業

- ・ヨガ教室、ママカレッジ開催
- ・短時間託児事業

※詳しくは役場保健福祉課へ

TEL 87-2161



バス通学の生徒のみなさんへ

公民館ロビーには、毎日のようにバスを待つ中学生が来ています。今までは、ロビーのテーブルでバスを待つ間に学習していました。2月7日より使用していない部屋があるときに、待ち時間の間、学習部屋として利用してもらおうと下のような表示をしました。

今までに延べ9名の生徒さんが利用してくれました。

